

## 第 14 回全国大会開催報告 2018/9/7

第 14 回全国大会は、2018 年 8 月 27 日（月）～29 日（水）の会期で創価大学において開催されました。全国の大学等からの 177 名に会場校の教職員 71 名以上が加わり、合計 248 名を超える参加者を迎え、各会場で熱心な討論が交わされました。この素晴らしいキャンパスを会場としてご提供くださった創価大学様に感謝を申し上げます。

今年度の大会テーマは「激変する社会における大学の未来を考える」としました。AI 時代の到来を念頭に、様々な要因から変化する社会状況の中で、どのような人材が求められるのか、入口から出口までの質保証を踏まえつつ、大学教育のあり方を議論するため、大会 2 日目には、人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」のプロジェクトディレクターとして知られる新井紀子氏（国立情報学研究所・教授）による基調講演、堀有喜衣氏（労働政策研究・研修機構・主任研究員）による特別講演を実施しました。



基調講演 新井紀子氏



特別講演 堀有喜衣氏

全国大会の大きな柱である一般発表については、多くの会員から応募をいただき、審査の結果、40 件の口頭発表と 11 件のポスター発表がありました。専門部会による企画として、医療系部会、ICT 活用教育部会、学習言語部会、日本語部会、理数系部会、日本語部会、学習支援部会の合計 7 件のラウンドテーブルやパネルディスカッションが行われました。

本大会の開催にご協力くださいました多くの方々に御礼申し上げます。

なお、来年度の全国大会は、金沢工業大学（石川県野々市市）で開催いたします（2019 年 8 月 26 日（月）～28 日（水）の予定）。大会実行委員長は西誠教授です。

## 大会発表優秀賞受賞者について 2018/9/7

大会発表優秀賞(第14回大会)は、厳正な審査の結果、以下の方々が受賞されました(五十音順)。○が筆頭発表者(受賞者)です。

- 1) 「理工系大学生に対する英語学習に関するアンケート調査結果報告」  
○奥田 宏志(芝浦工業大学)
- 2) 「高校化学と薬学臨床をつなぐ薬学部初年次における有機化学導入教育の実践」  
○清水 忠(兵庫医療大学), 西村 奏咲(武庫川女子大学), 大原 隆司(兵庫医療大学)
- 3) 「大学リメディアル英語クラスにおける文法指導」  
○藤田 恵里子(九州産業大学)
- 4) 「日本語ライティング支援に携わる学部生チューター研修の実践報告」  
○増地 ひとみ(愛知淑徳大学)
- 5) 「ラーニングコモンズの協働運営に参画する学生スタッフの行動特性」  
○山田 貴子(安田女子大学)



受賞者 清水 忠 会員



受賞者 奥田 宏志 会員

以上

【文責】大会企画委員会

## ※参考資料

### 日本リメディアル教育学会 大会発表優秀賞 選定規定（平成 29 年新設）

平成 29 年 6 月 20 日

日本リメディアル教育学会の全国大会では、大会発表優秀賞を設ける。この賞は、大会予稿及び発表を踏まえて、優秀な内容（口頭発表及びポスター発表）に対して授与されるものである。なお、大会発表優秀賞の受賞者には、学会誌への推薦論文として投稿を勧める。本学会は、様々な部会が存在することから、大会発表時の領域毎に選定できるように配慮する。

1) 10 件に 1 件の割合で、優秀賞を選定する。端数として、 $10 \pm 3$  件に 1 件の範囲内で許容する。優秀賞は、発表者（筆頭著者）とする。

2) 大会発表時の領域毎の選定が可能となるように、1) を満たすグループ化を図る。条件を満たさない分類は、他の分領域と合わせ、条件を満たすか、または近い条件になるように調整する。

3) 審査に際しては、大会発表優秀賞選定委員会を設置する。委員会（委員長 1 名及び幹事数名（各部会担当を想定））は、大会企画委員会の下で構成する。

4) 委員長及び幹事は、大会企画委員会のプログラム委員会と連携して、発表内容の分野との整合性を考慮して一次審査委員及び座長（二次審査委員候補）を選定する。

5) 一次審査委員は、担当の予稿の事前審査を行う。審査は、1)新規性 2)有用性 3)信頼性 4)了解性（記述の分かりやすさ）を以て審査する。

6) 一次審査のうち、上位 1 / 3 以上を当日審査（座長による審査）の対象とする。

7) 一次審査対象者が発表を行う座長は、発表に関する審査（二次審査）を行う。発表に関する審査も、1)新規性 2)有用性 3)信頼性 4)了解性（発表の分かりやすさ）の観点で審査する。なお、ポスター発表についても二次審査委員を設定する。

8) 大会最終日に、予稿及び発表審査の合計に基づき、最終審査を合議で行い、受賞者の選定を行う。

9) 受賞者については、大会日の閉会式で発表する。

10) 大会発表優秀賞対象者が希望する場合、推薦論文を期日までに提出できる。推薦論文は、編集委員会の領域毎の論文担当の下、領域を加味した査読者を選定し、各部会の採録の観点を考慮して論文作成のアドバイジングを行う。

以上